

CASBEE 京都-新築

標準システム 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	イズミヤ堀川丸太町店	階数	地上3F 地下1F
建設地	京都府京都市上京区猪熊通丸太町	構造	S造
用途地域	商業地域、第1種住居地域、防火地域	平均居住人員	600 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	6,400 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年11月 予定	評価の実施日	2013年5月15日
敷地面積	3,761 m ²	作成者	下岡浩
建築面積	2,942 m ²	確認日	
延床面積	6,386 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% 100% ②建築物の取組み 81% 63% ③上記+②以外の 81% 63% ④上記+ 81% 63%</p> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです (kg-CO₂/年・m²)</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.8</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.6</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.9</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 サービス施設として十分な性能を確保する。</p>		<p>その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
<p>Q1 室内環境 良好な温熱環境、空気環境を実現する。</p>	<p>Q2 サービス性能 客用ゾーンはバリアフリーとする。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) 緑化に努めている。</p>
<p>LR1 エネルギー 建物外壁及び屋根裏部分の断熱を行い、外皮からの熱流入防止に努めている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 節水型の大便秘器及び小便器を使用し節水に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境 歩行者、車両の動線に配慮する。周囲に渋滞を引き起こさない出入口位置とする。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCOの算定条件等については、「LCCO算定条件シート」を参照されたい